

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部・学科 〈専攻・コース〉	募集人員	出 願 資 格				特定条件・その他	選 考 方 法 書類・学科(配点・時間)・ 小論文(字数・時間)・面接 (実施形態)・その他	2025年度入試日程					縮 切 日	備 考 可否判定評価法(調査書重 視項目)、新設、その他	2024年度入試結果		
			出 願 時 区 の 分	現 浪 区 分	成 績 基 準	取 活 得 動 員 格 級			エ ン ト リ ー 間	事 体 験 前 面 接 授 業	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表			入 学 手 続	出 願 者 数 (エ ン ト リ ー 整	合 格 者 数
●自己推薦入試(外国語型) ●自己推薦入試(専攻適性型) ●チャレンジ入試 ●自己推薦入試 ●高大接続入試 ●高大接続型自己推薦入試 <b>中央大学</b> ★入試課 Ⅲ(042)674-2121 〒192-0393 東京都八 王子市東中野742-1	<自己推薦入試(外国語型)> 文-人文社会 <国文学> <英語文学文化> <ドイツ語文学文化> <中国言語文化> <東洋史学> <西洋史学> <社会情報学> <教育学> <フランス語文学文化> <日本史学> <哲学> <社会学> <心理学>	若干	併	浪	×	○	次のいずれか。(1)英語＝ TOEFL-iBT57、英検準 1級、IELTS4.5、TEAP 270、GTEC CBT1050以 上等の有資格者、(2)ドイ ツ語＝次の(ア)の要件を 満たす者 ((イ)はドイツ語 文学文化専攻のみ)。(ア) ドイツ語3級以上等の有 資格者、(イ)英検準2級以 上の有資格者、(3)フラン ス語＝フランス語3級以 上等の有資格者	1次＝書類審査(専攻によ り提出小論文含む) 2次＝専攻別試験・面接等	-	-	9.2 ～ 9.6	<1次> - <2次> 10.26	10.18  11.7	11.14	調査書一補正せず (注)ほかに学びのパスポ ートプログラム若干名を募集	190	70	2.7
	<自己推薦入試(専攻適性型)> 文-人文社会 <フランス語文学文化> <日本史学> <哲学> <社会学> <心理学>	4	併	浪	×	○	美術館等でのボランティ アまたは教育普及プログ ラム等に参加した体験を 持つ者 次の全条件。(1)日探の履 修者、(2)日本史研究に強 い意欲があり、日本史学・ 日本考古学に関する活動 に積極的に取り組んだ者 文学書、哲学書などの豊 かな読書経験を持つ者 社会学を学びたいという 意欲が特に強い者 心理学に関する多くの読 書経験やボランティア等 の経験を持つ者	1次＝書類審査(専攻によ り提出小論文含む) 2次＝専攻別試験・面接等						調査書一補正せず (注)ほかに学びのパスポ ートプログラム10名を募集	6	3	2.0	
															10	2	5.0	
															7	2	3.5	
															62	12	5.2	
															24	3	8.0	

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部・学科 〈専攻・コース〉	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法	2025年度入試日程					備 考	2024年度入試結果				
			出願 専 願 時 区 の 分	現 浪 区 分	成 績 基 準	取 活 得 動 機 資 格		特 定 条 件 ・ そ 他	書 類 ・ 学 科 ( 配 点 ・ 時 間 ) ・ 小 論 文 ( 字 数 ・ 時 間 ) ・ 面 接 ( 実 施 形 態 ) ・ そ 他	エ ン ト リ ー 間	事 前 面 接 業	体 験 授 業		出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続 日	合 否 判 定 評 価 法 ( 調 査 書 重 視 項 目 ), 新 設 , そ 他
●チャレンジ入試 ●自己推薦入試 ●高大接続入試 中 央 大 学 ( 続 )	<チャレンジ入試> 法-法律 -国際企業関係法 -政治	15 5 10	併	浪	×	○	次の全条件。(1)法律学・政治学を学ぶうえで、必要な知識・学力を有し、それを基礎として社会問題等に対してすぐれた思考力、判断力を有する者、(2)関係者とコミュニケーションを図りながら、協働して問題解決を図る姿勢と能力を有する者、(3)将来、グローバル部門、パブリック部門、リーガル部門のいずれかにおいて社会および自己の未来を切り拓く夢を持ち、その夢に挑戦する意欲と能力があり、問題解決をめざす者、(4)課外活動に積極的に取り組み、すぐれた成果を挙げるなど卓越した経験と実績を有する者 (注)選考方法→1次＝書類審査、2次＝講義理解力試験・面接	-	-		9.2 ～ 9.6	<1次> - <2次> 10.26	10.18  11.8	11.15	調査書一補正せず (注)ほかに英語運用能力特別入試を実施	223 23 162	23 2 16	9.7 11.5 10.1
	<自己推薦入試> 国際経営-国際経営	25	併	浪	3.8	○	次の全条件。(1)高校時代に課外の活動に積極的に参加し、他の模範となる成果を取める等、個性的で意欲的な高校生活を送り、広い視野と行動力を身に付けた者等、(2)TOEFL-iBT72, TOEIC L&R785かつS&W310 (IPテスト除く), IELTS5.5, 英検CSE2.0スコア2304以上いずれかの有資格者 (注)選考方法→1次＝書類審査、2次＝小論文・面接(英語・日本語)	-	-		9.2 ～ 9.6	<1次> - <2次> 10.26	10.14  11.6	11.13	調査書一補正せず	103	66	1.6
	<高大接続入試> 経済-経済 -経済情報システム -国際経済 -公共・環境経済	20	併	浪	×	○	自己推薦型＝自身が関心や問題意識を持ったテーマに関して、社会と地域と連携した活動に主体的に取り組んでいる者 1次＝書類審査 2次＝小論文・外国語試験(英・独・仏・中国語から選択)・プレゼンテーション	-	-		9.4 ～ 9.11	<1次> - <2次> 10.26	10.18  11.8	11.15	調査書一補正せず (注)共通出願条件→本学部入学後の学修計画や将来の構想が明確であり、これまでの自身の活動経験を本学部における学びやその後の進路において活用できると自己アピールできる者 (注)ほかに英語運用能力特別入試を実施	43	6	7.2
				併	浪	×	○	資格・実績評価型＝次のいずれか。(1)日簿2級、全商簿1級、基本情報技術者、応用情報技術者いずれかの有資格者、(2)都道府県レベル以上で環境問題、社会福祉、社会保障問題をテーマとする懸賞論文等において、作品が入選以上の表彰をされた者、(3)本学部門目等履修生として、「経済入門」を履修し、A以上の成績を修めた者 (注)選考方法→書類審査・小論文・外国語試験(英・独・仏・中国語から選択)・面接	-	-		9.12 ～ 9.19	10.26	11.8	11.15		41	18



●入試名称 大 学 ★問合先等	学部・学科 〈専攻・コース〉	募集人員	出 願 資 格				取 活 動 実 績 格 付 特 定 条 件 ・ そ 他	選 考 方 法		2025年度入試日程					備 考		2024年度入試結果		
			出 願 時 区 の 分	現 浪 区 分	成 績 基 準	取 活 動 実 績 格 付		書 類 ・ 学 科 ( 配 点 ・ 時 間 ) ・ 小 論 文 ( 字 数 ・ 時 間 ) ・ 面 接 ( 実 施 形 態 ) ・ そ 他	エ ン ト リ ー 時 間	事 前 面 接 業	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続 日	合 否 判 定 評 価 法 ( 調 査 書 重 視 項 目 ), 新 設, そ 他	出 願 者 数 ( エ ン ト リ ー 数	合 格 者 数	競 争 率	
●高大接続型自己推薦入試 中央大学 (続)	<高大接続型自己推薦入試> 理工-応用化学	2	併	浪	4.0	○	本学で応用化学を学ぶための基礎学力、探究心、創造性をアピールできる者(例→化学グランプリ等)に出場、化学に関する活動で成果を挙げた者、化学に関連した研究や調査の結果に対して公的な表彰を受けたことがある者)	-	-	9.13 ～ 9.20	<1次> - <2次>	10.18  11.15	11.25	調査書-補正せず (注)選考方法→1次=書類 審査, 2次=筆記試験・面 接	2	0	-		
	-ビジネスデータ サイエンス	2	併	浪	4.0	○	本学でビジネスデータサイエンスを学ぶための基礎 学力、創造力、知的好奇心、学習意欲をアピールで きる者(例→全国または国際的な規模のコンテスト に出場、情報や数学に関する資格、コンピュータソ フトウェアの創作コンクール・経営に関するコンク ールなどに応募し成果を挙げた者)	-	-	9.13 ～ 9.20	<1次> - <2次>	10.18  11.15	11.25	調査書-補正せず (注)選考方法→1次=書類 審査, 2次=筆記試験・面 接	9	0	-		
	-情報工	1	併	浪	4.0	○	コミュニケーション力が「相手の意見をひとつと おり理解し、相手に自身の意見をひとつと おり伝えられる」、組織的行動能力が「指示され ると作業できる。目標を達成するため自ら動 ければ、なお良い」、自己実現力が「自ら明 確な目標を定め、その実現のために道筋を考 え努力する。その際、自己管理を怠らない」 水準に達していること、および多様性創 発力が「多様性(文化・習慣・価値観等)を 意識し、理解しようとしている」水準に達 していることのエビデンスとなり得る何 らかのアクティブ・ラーニングの実績を アピールできる者	-	-	9.13 ～ 9.20	<1次> - <2次>	10.18  11.15	11.25	調査書-補正せず (注)選考方法→1次=書類 審査, 2次=筆記試験・面 接	0	-	-		
	-生命科学	1	併	浪	4.2	△	本学で生命科学を学ぶための基礎学力、主体性、知 的 好 奇 心、論 理 性、創 造 力、コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力 を 強 く ア ピ ー ル で き、次 の い ず れ か に 該 当 す る 者、 ま た は 同 等 の 実 績 が あ る と 認 め ら れ る 者。 (1)生基・生と物基・物、化基・化、地 基・地学のいずれかが4.4以上、(2)日本 生物学オリンピックに出場し、全国での 1次選抜に残った者、(3)日本学生科学 賞に個人として受賞した者	-	-	9.13 ～ 9.20	<1次> - <2次>	10.18  11.15	11.25	調査書-補正せず (注)選考方法→1次=書類 審査, 2次=筆記試験・プ レゼンテーション・質疑 応答・面接 (注)履修が望ましい科目は 要項確認	(新規実施)				
	-人間総合理工	8	併	浪	4.0	△	本学で人間総合理工学を学ぶための基礎学力を有し、 本学科所属研究室の少なくとも2つ以上に深い興味を 持ち、本学科での学びに有用と考えられる探求心、 創造性、コミュニケーション能力などにおいて、自 らの能力の高さを強くアピールできる者(それらを 客観的に証明できる資格やコンテストでの成績など の書類があれば好ましいが、必須ではない) (注)選考方法→1次=書類審査, 2次=プレゼン テーション・質疑応答	-	-	9.13 ～ 9.20	<1次> - <2次>	10.18  11.15	11.25	調査書-補正せず (注)履修条件→英C I II III ・論表 I II III, 数 I II III A BC, 理(物基・物、化基 ・化、生基・生のいずれか) を履修していることが望ま しい	23	7	3.3		